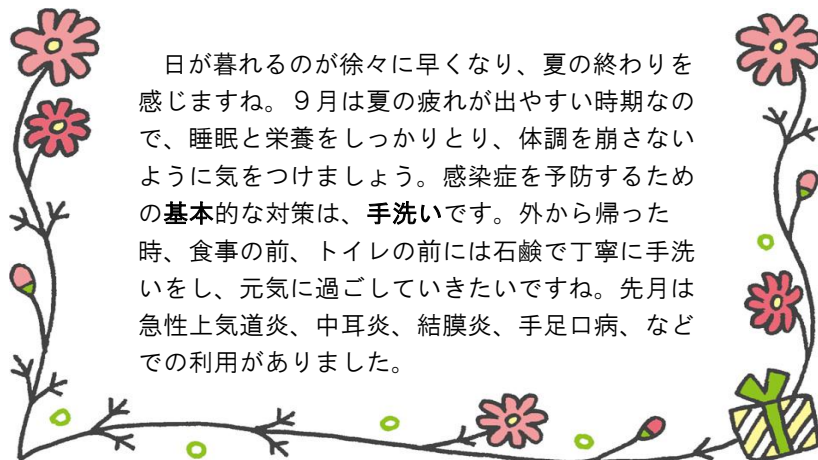


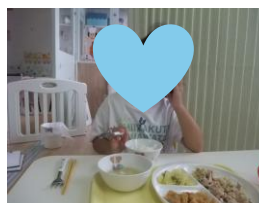


令和8年9月号 No.134
砂川市病児・病後児保育施設
Tel 0125-54-2278

9月1日は『防災の日』です家庭での事故やけがへの注意は万全でしょうか？ 小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らず！ 大人が、安全な環境を整えてあげましょう。



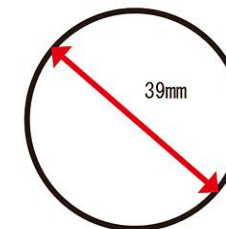
日が暮れるのが徐々に早くなり、夏の終わりを感じますね。9月は夏の疲れが出やすい時期なので、睡眠と栄養をしっかりととり、体調を崩さないように気をつけましょう。感染症を予防するための基本的な対策は、手洗いです。外から帰った時、食事の前、トイレの前には石鹸で丁寧に手洗いをして、元気に過ごしていきたいですね。先月は急性上気道炎、中耳炎、結膜炎、手足口病、などでの利用がありました。



家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ **0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼ口ではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などに上って手すりを超える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。